

## ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) の推進

### 戸建住宅ZEH化等支援事業

ZEH【環境省】

ZEH+【環境省】<sup>プラス</sup>

#### ZEHに定額55万円補助

#### さらに省エネ性の高いZEH+に定額100万円補助

##### 概要

年間の一次エネルギー消費量が正味でゼロ以下となるZEHについて、戸建住宅の新築に対して補助金が交付されます。また、蓄電池や低炭素に資する素材、先進的再エネ熱利用技術を活用する場合には、別途、定額加算があります。

##### 概要

ZEH以上の省エネ、設備の効率的な運用などにより再エネの自家消費率拡大を目指した戸建住宅(ZEH+)について補助金が交付されます。また、蓄電池や低炭素に資する素材、先進的再エネ熱利用技術を活用する場合には、別途、定額加算があります。

##### これだけお得です

新築: 定額**55万円**/戸

系統連系対応型蓄電池の設置、低炭素化に資する素材 (CLT等) を一定量以上使用、または先進的再エネ熱利用技術を活用する場合には別途補助

##### これだけお得です

定額**100万円**/戸

系統連系対応型蓄電池の設置、低炭素化に資する素材 (CLT等) を一定量以上使用、または先進的再エネ熱利用技術を活用する場合には別途補助

##### このような住宅が利用できます

- ▶ 外皮性能の強化
- ▶ 再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量を削減。(再生可能エネルギーを含める場合は100%以上削減)

寒冷、低日射、多雪地域においては  
Nearly ZEH (基準一次エネルギー消費量から再生可能エネルギーを含めて▲75%以上) での申請も可能

都市部狭小地、多雪地域などにおいては  
ZEH Oriented (太陽光発電や蓄電池は無いが、断熱性・省エネ性はZEH基準以上) での申請も可能

##### このような住宅が利用できます

- ▶ 外皮性能の強化
- ▶ 再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から25%以上の一次エネルギー消費量を削減。(再生可能エネルギーを含める場合は100%以上削減)
- ▶ 次の3要素のうち2要素以上を採用
  - ・ 外皮性能の更なる強化 (UA値が次の値以下)  
1・2地域: 0.30、3~5地域: 0.40、6・7地域: 0.50
  - ・ 高度エネルギーマネジメント (HEMS等)
  - ・ 電気自動車への充電

寒冷、低日射、多雪地域においては  
Nearly ZEH+ (基準一次エネルギー消費量から再生可能エネルギーを含めて▲75%以上) での申請も可能

●強化外皮性能(U<sub>A</sub>値: W/m<sup>2</sup>K)

地域	1	2	3	4	5	6	7
省エネ基準	0.46		0.56	0.75		0.87	
ZEH	0.4以下		0.5以下			0.6以下	
ZEH+ (更なる強化)	0.3以下		0.4以下		0.4以下*		0.5以下

\*地域区分4及び5は当面0.5でも可。

2023年2月末時点の情報で、内容が変更になる場合があります。

## 次世代ZEH+(注文住宅)実証事業 【経済産業省】

### 次世代型のZEH+に定額100万円補助

#### 概要

再エネなどのさらなる自家消費の拡大を目指した次世代ZEH+について、戸建住宅の新築に対して補助金が交付されます。また、蓄電システムや先進的な再エネ熱利用技術を活用する場合、定額加算があります。

#### これだけお得です

**定額100万円** / 戸

- 蓄電システム(定置型): 2万円/kWh、補助対象経費の1/3又は20万円のいずれか低い額を加算
- 燃料電池: 2万円/台
- V2H充電設備(放充電設備): 補助対象経費の1/2又は75万円のいずれか低い額を加算
- 太陽熱利用温水システム: [液体式] 7万円/戸、[空気式] 60万円/戸

#### このような住宅が利用できます

- ▶ 対象となる住宅
  - ・ ZEH+
  - ・ Nearly ZEH+ (寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る)
- ▶ 交付要件の主なポイント  
「ZEH+に係る要件」を満たしていること且つ、以下のいずれか1つ以上を導入すること
  1. 蓄電システム
  2. V2H充電設備(放充電設備)
  3. 燃料電池
  4. 太陽熱利用システム
  5. 太陽光発電システム10kW以上

## LCCM住宅整備推進事業 【国土交通省】

### LCCM住宅の費用の1/2を補助

#### 概要

使用段階のCO<sub>2</sub>排出量に加え資材製造や建設段階等のCO<sub>2</sub>排出量の削減、長寿命化によりライフサイクル全体(建築から解体・再利用等まで)を通じたCO<sub>2</sub>排出量をマイナスにするLCCM住宅(ライフサイクルカーボンマイナス住宅)について補助が行われます。

#### これだけお得です

戸建住宅の場合

**補助限度額140万円** / 戸

以下の費用の合計額の **1/2**

○設計費

○建設工事等における補助対象工事の掛かり増し費用

#### このような住宅が利用できます

- ▶ ZEHの要件を満たすこと
  - ▶ 再生可能エネルギーを除き、一次エネルギー消費量が現行の省エネ基準値から25%削減されているもの
  - ▶ ライフサイクル全体のCO<sub>2</sub>排出量を算定\*し、その結果が0以下となること
- \*建設、居住、修繕・更新・解体の各段階を通じたCO<sub>2</sub>排出量が、太陽光発電によるCO<sub>2</sub>削減量を下回ることを、指定のツールを用いて評価

#### 提案できるTDYの主要商品



節湯水栓



高断熱浴槽



窓



玄関ドア



玄関引戸

